

令和5年度 第1回近江八幡市水道事業運営委員会 会議録

開催日時 令和5年10月6日(金) 午後2:00~3:00
開催場所 近江八幡市水道事業所 3階AB会議室
出席者 ◎西谷委員長、○根来副委員長、山下委員、小椋委員、坂上委員、
福井委員、梅村委員、山田委員
欠席者 北川委員
事務局 【水道事業所】福本所長
【上下水道施設課】瀧井課長、(上水道G)周防課長補佐
【上下水道総務課】西川課長、(業務G)大野課長補佐、(経営G)友岡課
長補佐、木村主任主事、藤主事

< 内 容 >

	<p>【1. 開会】</p> <p>【2. 市長挨拶】 水道事業所長による代読</p> <p>【3. 委嘱状交付】 各委員へ委嘱状を交付</p> <p>【4. 自己紹介】 各委員および事務局の自己紹介</p> <p>【5. 委員長、副委員長の選出】 事務局より委員長に西谷委員、副委員長に根来委員を推薦し、全員の賛同を得た</p> <p>【6. 議事】 (1) 報告 ①令和4年度決算及び令和5年度予算概要について ・・・事務局より説明 [資料1・2]</p>
事務局	
委員長	<p>数字が多く難しいとか、理解できない箇所等も含めて、委員よりコメントいただきたい。 利益が1億5000万円出ているので儲かっているように見えるが、儲か</p>

	<p>っているのではなくて今年度は余裕がある。その利益、あるいは減価償却で取り返したものを、新しい工事に充てていくというお金の流れになっている。それだけでは足りないので、企業債という借金をして、工事に充てていく。例えば、資料2の企業債が6億8600万円であり、企業債償還金は2～3億円となっている。ここだけ見ると借金が増えているのが分かる。利益は出ているが借金が増えているというような状態で、工事等でお金がかかっている。今後借金が増える一方なのか、いずれ逆転して借金が減っていくトレンドになるのかというのは、中長期的なトレンドのデータを見ないと分からないが、決算・予算においては、借金は増えるが利益は出ており、儲かっているわけでもないという状態である。</p>
委員	<p>フロー面の動きはよく分かったが、ストック面が少し分かりづらい。令和4年度の企業債の残高と内部留保資金の残高、その2項目だけ教えていただきたい。</p>
事務局	<p>企業債残高については、令和4年度末で39億5342万8431円、補てん財源残高については、24億2424万9875円となっている。</p>
事務局	<p>②令和4年度及び令和5年度建設事業について ……事務局より説明 [資料3]</p>
副委員長	<p>水道管路の耐震化率は書かれているが、浄水施設の耐震化率と、配水池の耐震化率を教えていただきたい。</p>
事務局	<p>施設としては約8割が耐震化済。耐震化ができていない施設としては南部水源地があるが、南部水源地は廃止予定となっているので算定からは除く。円山配水池は現在耐震化事業を行っているところであり、現状は耐震化できていない。耐震化できていない施設は円山配水池、沖島配水池、沖島浄水場である。</p>
委員長	<p>難しい言葉が多く、市民代表には分かりにくいかもしれないが、耐震化率についても長期的な目標を定めて、少しずつ達成していくための計画があり、それが今回出てきていないので次の会議で議論したい。10～20年の長期スパンで、耐震化や老朽管の更新、重要拠点に対してパイプを太くする、あるいは人が少なくなれば小さくすることや、緊急事態のために他市との水道管を繋ぐといった工事も10年スパンぐらいで計画を立てられている。その計画に対して今どれぐらい進んでいるのか、あるいは遅れているのかが分かりにくい。そういったことを含めて配布資料を作っていただきたい。</p>

	<p>水道事業の概要については、県水というのが分かりにくいかもしれない。滋賀県も水を作っていて、各市町で足りない分、自分たちで作れない部分について供給を受けている。それが多いか少ないか、県の水の比率が高いのではないかなど、いろいろご意見があるところだが、構造としてはそのようになっている。</p> <p>それらを踏まえて、ご意見ご質問をいただきたい。</p> <p>説明の補足として、資料3の2ページ目の地図に①～⑥の番号を振っているが、この中で近江八幡市独自で水を作って配水しているのは①、④になる。それ以外の②③⑤⑥については滋賀県企業庁から水を購入して配水しているが、②、⑥は市独自の水源として岩倉浄水場および南部水源地の自己水も含めて配水している。</p> <p>①の牧浄水場については同じ敷地に地上式の配水池を設置している。地上式は水を送るのにポンプで送る必要があり、ポンプ圧送方式となる。それ以外の円山、沖島、上出配水池は山の上であり、その水の圧力によって自然流下で配水をする方式である。岩倉浄水場および南部水源地は地上にあるため、ポンプ圧送で山の上に水を上げている。</p>
事務局	<p>本来であれば貸借対照表と損益計算書等、状況が分かる資料もあった方が分かりやすいが、今の段階ではまずお金の流れというものを説明いただいた。事業に対する細かい議論をするときには貸借対照表、損益計算書、それから他の委員からもあったように企業債が今どれくらいあって、これからどれくらい伸びていく予定なのか、あるいは利益が今は1億5000万円出ているけれども、それはどれぐらいの続くのか、もしくは減っていくのかどうか、そういったことを見ていく必要がある。今日は第1回ということで、予算・決算を見ていただいて、大体の事業概要と、工事予定を見ていただいたということになる。</p>
委員長	<p>【7. その他】</p> <p>今後の課題・検討事項等について</p>
事務局	<p>・・・事務局より説明</p>
委員長	<p>今後の課題・検討事項は、この運営委員会で検討していくことなのか、それとも水道事業としてのものなのか。</p>
事務局	<p>委員会において検討していきたい内容であり、水道事業としても今度の課題としている。</p> <p>施設整備関連については既に着手している事業であり、ご報告とい</p>

	<p>うことになる。</p> <p>次回以降は水道事業の運営について、さらに詳細にご説明させていただきたいと考えている。</p> <p>異臭味対策については、既に事業を進めている段階であり、今後、状況を報告していく。</p> <p>広域化については長期スパンになるかと思われる。県の協議会に参加する中で、その内容についてこの委員会にご報告させていただき、近江八幡市としての水道のあり方を協議させていただきたい。</p>
委員	<p>今回、委員の委嘱を受けて、2年間の任務を全うしたいと思っているが、今後はいつ開催するとか、このテーマをいつまでに決める、といった予定はあるのか。</p>
事務局	<p>今現在では詳細には決まっていないが、今後、経営状況や経営計画に盛り込んでいくべき内容について、年度内にもう1回開催し協議したいと考えている。</p>
事務局	<p>水道料金の方向性について、市長協議を行っている段階である。その方向性、スケジュール等が決まれば今後、委員会において審議をお願いしたいと考えている。また、料金改定となればシミュレーション、情報収集も行なわなければならないので、それらを整理した上で審議させていただきたい。現段階ではその方向性があるということをご承知させていただきたい。</p>
委員	<p>料金の方向性については確定していないとの事だが、今の未収金は何%あるのか、そして今の料金が他市町と比べて高いのか安いのか、近江八幡市は今どれぐらいなのか。その辺りが見えてこないのを教えていただきたい。</p>
事務局	<p>令和5年4月1日現在で、口径13mmで1ヶ月20立米を使った場合の消費税込の料金比較データが出ており、近江八幡市は3,047円。滋賀県の平均が2,916円になっているので、近江八幡市は県平均より131円高いという状況である。県内で言うとやや高い方に位置する。</p> <p>未収金については、本日は詳細データを持ち合わせていないが、約3%弱が未収金の割合になる。大雑把に、年間の収益約14億円に対して約3900万円ほどである。</p>
副委員長	<p>【閉会】</p> <p>第1回目ということでご審議ありがとうございました。ここ数年は開催できていなかったのが前の委員会からの繋がりが無いと思う。皆さんも何が分からないのか、もっとこういうことを聞きたい、とい</p>

<p>った意見をどんどん出していただければより良いものになる。事務局としても、次回からは比較できる資料があると良い。議事にもあった耐震化率にしても、全国や他と比べて近江八幡市はどこが悪いのか、どのような対策が必要か、という事が分かるように、今後の課題についても、何故それが課題になっているのかを分かるような資料を提示いただければ、市民の皆さんももっと論議できると感じた。</p>
